

募集相談員会「大凧まつり」イベントを支援 ～光輝き舞い上がれ！～



自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻昌晋・陸尉）は、5月4日（土）、5日（日）の2日間にわたって開催された「相模の大凧まつり」及び「座間市大凧まつり」に参加し、相模原地域募集相談員会が出店した自衛隊広報ブースを支援した。

二つの大凧まつりは、相模原市の新磯地区及び座間市で、それぞれ古くから子供の成長を願って行われている伝統行事であり、今年は、相模原市では「稀風（きふう）」（市政70周年を迎え、人生に例え70歳の古希を祝う）、座間市では「輝龍（こうりゆう）」（今年の干支である龍が光り輝き空を駆ける）と書かれた13メートル四方（百畳）の大凧が快晴の空高く舞い上がった。

4日（土）に相模原市、5日（日）に座間市の会場に出展された自衛隊広報ブースでは、陸上自衛隊第4施設群の支援を受けて装備品展示を実施し、子供だけでなく大人も偵察用バイクにまたがって記念撮影するなど、来場者から好評だった。

また、募集相談コーナーでは、広報官が自衛隊への入隊の説明などを行い、「能力とやる気次第でいろいろな将来の選択肢があることや、人とのつながりを大切にしていることを理解できた」という方もいて、自衛隊に興味を持ってもらうことができました。

相模原地域事務所は、「今後も募集相談員会等と連携し、地域のイベントの場を活用して市民に密着した広報活動を行い、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。

